

# ビジネストーク



Juvia



Indigo People



Mustang

## JUVIA

ソファーからクラブまで

コンフォートと都会的なラウンジウェアなら、新進ブランドJuviaが、今ファッショントーンで熱いまなざしを集めている。2013年にジュディス・ドマーマスが立ち上げたこのカジュアルファッショングランは、ホームウェアとしてのジョガーやフーディーだけでなく、ナイトライフでも楽しめる長袖シャツやレギンスも提供する。コンフォートを意識してデザインされたコレクションには、トップスやシャツ、コージーなスウェットシャツ、カジュアルショーツ、クラシックなジョギングブレザーやジョガーや、レギンスやドレスなどが含まれている。このブランドは、ヨーロッパ内で製造し、シーズンに合わせたプリントやカラーを採用。カシミアブレンドやスーピマコットンなどの柔らかな高級素材もハイライトの1つだ。Juviaは、ブランドの拠点であるドイツ・デュッセルドルフ、モーマン/ミュンヘン、ドナ/ハノーバーをはじめ、既に14カ国350店舗で販売されている。

[www.juvia.com](http://www.juvia.com)

## CRASH BAGGAGE

人気の旅行バッグの新ライン

イタリアのバッグブランドCrash Baggageが、BUMPという名の新しいラインをスタートする。トートバッグやワーケンドバッグ、2種類のバックパックが含まれ、Crash Baggageのすべての旅行かばんにマウントできる。これらの新しいモデルは、最高品質の防水ナイロンを素材にしたブラックのボディに、4色から選べるCrash Baggage風の底が特徴だ。レザーをボディ素材に使った、スペシャルエディションも登場する予定だ。またCrash Baggageは、ミリタリーカモフラージュにヒントを得た、2,700個限定の新シリーズを立ち上げる計画もある。さらに、1年以内に日本と中国に初の店舗をオープンしたいと考えている。

[www.crashbaggage.com](http://www.crashbaggage.com)

## INDIGO PEOPLE

天然藍デニムの職人技

オランダのデニムブランドIndigo Peopleは、2016年春夏に向けて、職人技とアンティークのテキスタイルデザインに引き続き焦点を当てて行く。今シーズンは、日本の伝統技術を再現する。柄に合わせて織糸を縛り、天然藍に20回漬けた後、職人が柄を織り上げる工法だ。2016年春夏ではシルクも使われ、1着を仕上げるすべての工程に5日も必要とする2点の手の込んだアイテムを製作する。手作業でカットとステッチを行ったハンドメイドのデニムのネクタイも男性に向けて提案。デニムルックをドレスアップしたり、よりフォーマルな場面でカジュアルさを加えることができるアイテムだ。

[www.indigopeople.net](http://www.indigopeople.net)

## SUNHOUSE

テーラー仕立てのニットウェア

有名なイタリアのマルシェ地方に位置するEddy Ricami Srlには、Sunhouseコレクションにまつわる特別なストーリーがある。同社は、ニットウェア文化のルーツを守ろうとする情熱から、日本製の古い編み機数台を修理。伝統的なイタリアのコートやブレザーに、ニットウェアの製造技術を組み合わせる新しいプロジェクトの製造準備を整えた。幅広いカラーバリエーションのニットティングウールとナイロンヤーンを使い、サルトリアルの個性なフォルムを実現。ツイードとピンストライプ、アニマル柄とチェックのジャカードにアレンジを加えた、メンズ&ウィメンズウェアのアイテムが誕生した。

[www.sunhouse.it](http://www.sunhouse.it)

## MUSTANG

ストレッチ素材のBE FLEXIBLE

長い伝統を持つライフスタイルブランド、ムスタンガが、最新の超ストレッチデニムの革新“Be Flexible!”を、2016年秋冬に合わせてローンチする。このユニークな“Bi (バイ)”ストレッチデニムは、洗濯方法にかかわらず、常に同レベルの収縮を維持できる伸縮性の高い生地で作られている。“Be Flexible”のストレッチ生地を製造する一方で、縫製前に防縮加工を施す特別な“プレシューリング”の工程も開発し、当初18~20%だった縮小率を5~6%にまで削減することに成功した。この新しい革新的なデニムは、メンズ/ウィメンズ各3デザイン製造され、1月開催のパノラマ展示会で初披露される。ムスタンガはこの他に、ベルトのコレクションも同時発表する予定だ。

[www.mustang-jeans.com](http://www.mustang-jeans.com)

## パリの小話

サンデーショッピングが解禁

パリのリテールシーンで、ちょっとした革命が起きた。かなりの数のショップに、今まで禁止されていた日曜営業の許可が下りたのだ。2016年1月1日に施行されるこの許可は、サンジェルマン、モンテーニュ、サントノレの通りやヴァンドーム広場、オスマン通りの一部などを対象とする、12カ所の観光エリアに限定されている。マレ地区は、例外の1つとして既に日曜営業の許可を得ていたが、これからは仲間が増えるので喜んでいることだろう。